

令和8年度 学校経営方針

北九州市立香月小学校
校長 宮田 理

1 学校経営の基盤

日本国憲法、教育基本法、学校教育法等諸法令及び北九州市教育委員会の諸施策を基盤に、児童と家庭、地域の実態に即し、平和国家及び社会の形成者として、心身共に健全な児童を育成するための初等教育を行う場である。

- 児童：生育環境、家庭環境を踏まえた児童理解と適切な指導を行う。
- 教師：「すべてが自己研鑽である」という姿勢で前向きにとらえ、対処する。
- 教育に対する信念と情熱をもつ。
- 教職員の信頼関係・連携を基盤とする。

2 学校教育目標

自ら学び、自ら伸びる、人間性豊かでたくましい子どもの育成

めざす学校像

- 明るく活気にあふれ、児童・教師が生き生きと安全で安心して生活できる学校
- 児童と教師が互いに信頼と誇りがもてる学校
- 保護者や地域と連携して「開かれた学校づくり」を推進し、信頼される学校

めざす児童像

- 自他の生命を大切にする、健康で明るい子ども
- 進んで学び、正しく判断し行動する子ども
- ルールやマナーを大切にし、思いやりのある子ども

めざす教師像

- 児童のために「知恵を出し、汗を流す」ことを惜しまない教師
- 教育的な温かさと厳しさにあふれ、責任ある態度と教育実践で保護者や地域から信頼される教師
- 専門性を高め、相互理解と協力・協働する教師

3 学校教育目標達成のためのスローガン

感謝 つながり 基礎基本
～自己肯定と他者の受容ができる子どもの育成をめざす～

スローガン	めざす子ども像	めざす教師像
か 感謝	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の生命を尊重する、健康で明るい子ども ・様々な教育活動に携わる方々への感謝の思いを行動に表す子ども ・元気にあいさつができる子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ・命の尊さを大切に伝える教師(生命・人権尊重) ・相手軸で物事をとらえ、言葉や態度で豊かに伝える教師(思いやり・称賛や励まし) ・保護者や地域に誠意をもって対応する教師(目を見て元気よくあいさつ)
つ つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・共通の目標に向かって努力し合うことの喜びを味わえる子ども ・学級で協力し合う子ども ・異学年で協働し合う子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で抱え込まない教師 ・情報の共有ができる教師 ・組織として協働する教師集団 ・専門機関等と連携する学校
き 基礎基本	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣や課題解決力等の生きる力をもつ子ども ・基礎学力向上のために努力できる子ども ・目標をもって活動し、何事にも積極的に取り組む子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや学校のために全力を傾ける教師 ・授業を大切にする、指導力のある教師 ・常に学ぶ姿勢をもち、人間性・専門性を磨く教師 ・メンタルヘルス等、心身の健康に心がける教師

4 学校経営の基本方針

- ① 児童の命を守る。防災教育の徹底、いじめ、虐待への組織的対応。
- ② 教育目標達成のためのスローガンと「6つの花」の徹底。
- ③ スクールプランの共通理解のもと、校務分掌を機能的に生かした組織的な運営にあたり、望ましい人間関係能力・基礎学力の向上と基本的な生活習慣の定着を図る。
- ④ 香月中学校区のきまりを徹底するため、機会をとらえた保護者・地域への啓発に努める。
- ⑤ 危機管理体制の確立と事故防止に努め、積極的な生徒指導を行う。
- ⑥ 校舎内外の環境を整備させ、生活や学習の場としてふさわしい教育環境の充実に努める。
- ⑦ 授業力の向上と教職員の専門性を高めるための、校内・校外での組織的・計画的な研修の充実に努める。

5 本年度の重点目標

<本年度のキーワード>

- ・スローガンと6つの花
- ・児童の手による運動の拡大を図り、愛校心と自尊感情を育む
- ・学力・体力の向上
- ・主題研究の推進、読書活動の推進、基礎学力の定着、ICTの活用
- ・安心して学べる学校
- ・集団としての質を高める教育活動の展開、組織的生徒指導の確立
- ・特別支援教育の充実
- ・UDの視点に立った特別支援教育の充実
- ・地域・保護者との連携
- ・市型CSから国型CSへの円滑な移行
- 積極的な保護者連絡と時期を得た家庭訪問の実施

◎学力・体力の向上

- 校内研修のさらなる充実に努め、児童の学力向上につながる教師力（授業力・学級経営力等）の向上を目指す。
 - ・一時間一時間の授業を大切にする。
 - ・豊かな教職ライフのための授業力向上。
- 学力保障部による組織的・計画的な取組。
- 家庭と連携した学習習慣・運動習慣等の充実。
 - ・家庭学習習慣の定着と質の向上。
- 1人1台端末を最大限活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に努める。

◎安心して学べる学校

- 組織的・機動的な生徒指導体制の確立
 - ・いじめ（の芽）事案への速やかな対応
 - ・長期欠席生徒へのきめ細やかな対応
- 目的意識の明確化→（学年・学級）目標の設定
- 集団としての質を高める取り組みの促進
 - ・人間関係づくり、学級集団づくりを促進する学級活動・学校行事の充実
- 思いやりの心の育成や規範意識の醸成
 - ・特別な教科道徳の質の向上
- 確かな人権感覚をはぐくみ、人権意識の高揚を図る人権教育の推進
 - ・新版「いのち」、子どもつながりプログラムを活用した授業づくり
 - ・明日への伝言板等を活用した人権週間の取組や人権講演会等の実施
- 学校における事故防止に努める。
 - ・事故の処理にあたっては、迅速かつ的確に行う。保護者に対しては、事故の様子を正確に伝え、誠意をもってあたる。
- 危機管理意識にたった安全点検を通して、施設・設備の安全管理に努める。

◎特別支援教育の充実

- 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の充実
 - ・障害のある児童の視点に立って、一人一人の教育的ニーズを把握し、個に応じた適切な指導及び支援を推進する。
 - ・チームで取り組む特別支援教育委員会の機能強化を図り、特別な支援を要する児童についての支援情報を収集し、学校全体で共有する。
 - ・個別の教育支援計画・指導計画を活用した、適切な指導及び必要な支援の充実に努める。
 - ・通常学級に在籍しながら、学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服することを目指す「通級による指導」の充実に努める。

◎地域・保護者との連携

- PTAや地域の行事に、組織的・計画的に参加する。（50周年記念式典、香月文化祭等）
- 市型CSから国型CSへの円滑な移行。
- 積極的な保護者連絡と時期を得た家庭訪問の実施。
- 家庭との連携を図るきめ細やかな手立ての工夫を通して、保護者の願いを受け止め、信頼関係を深めることに努める。

○学校からの情報発信の強化（学校だより、各種通信等）

◎ワークライフバランスの推進

在校時間の自己管理

定時退校日の設定

計画的な年休取得

◎教育公務員としての自覚とプライドをもち、綱紀粛正に努める。

不祥事防止（体罰・不適切な指導・飲酒運転・情報漏洩等）

◎自身の健康管理に努める。

心と体の声を聴き、早めの受診と健康的な生活習慣を心がける。

◎教職員の同僚性を構築する。

個々の特徴や強みを生かし合い、共に学び合う風通しのよい職場づくり。

ベテランの知恵を継承するとともに、若手の発想力を支援し、互いに生かし合う。